平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月26日

上場会社名　株式会社 千趣会　　上場取引所　東 大
コード番号　8165　URL　http://www.senshukai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田邉　道夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画本部長　(氏名) 星野　裕幸　TEL 06-6881-3220

四半期報告書提出予定日　平成25年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	34,471	1.2	37	―	240	―	197	―
24年12月期第1四半期	34,062	7.2	△741	―	△216	―	△178	―

(注)包括利益　25年12月期第1四半期　1,287百万円　(12.7%)　24年12月期第1四半期　1,142百万円　(△5.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	4.57	―
24年12月期第1四半期	△4.12	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	92,177	45,786	49.7	1,057.21
24年12月期	92,887	44,932	48.4	1,037.48

(参考) 自己資本　25年12月期第1四半期　45,786百万円　24年12月期　44,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		12.00	―	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,200	4.3	2,000	162.3	2,200	86.4	1,400	53.1	32.33
通期	153,000	5.0	4,700	122.8	5,000	80.8	3,700	82.3	85.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	47,630,393 株	24年12月期	47,630,393 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	4,321,445 株	24年12月期	4,321,445 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	43,308,948 株	24年12月期1Q	43,309,318 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成25年１月１日～平成25年３月31日）におけるわが国経済は、円高から円安への進行による企業収益の改善や、昨年度末からの景気回復策に対する期待からの株価回復など明るい兆しが見え始めております。

小売業界におきましては、百貨店などにおける高額品消費が回復基調にあるものの、消費者の節約志向はなお根強く残っており、小売業界全体としては未だ不透明な状況にあります。

このような経営環境のなか、当社グループは、今年度を最終年度とした「中期経営計画」の目標達成に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、344億71百万円（前年同期比1.2％増）となりました。

利益面に関しましては、通信販売事業における売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は37百万円（前年同期は７億41百万円の営業損失）となりました。

経常利益は為替差益等により２億40百万円（前年同期は２億16百万円の経常損失）、また四半期純利益は、１億97百万円（前年同期は１億78百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の概況

（通信販売事業）

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は、１月度の気温低下による秋冬物の売上増加はありましたが、春物の出足が鈍く昨年よりやや低い水準で推移いたしました。２月度からは徐々に回復し、３月度は初旬から気温が上昇し出遅れていた春物の売上が伸びました。結果前年を上回り、315億72百万円（前年同期比1.7％増）となりました。

利益面に関しましては、売上高の増加とバーゲン・処分販売の売上増加による仕入原価率上昇はあったものの、商品評価損等が減少し売上総利益率は改善いたしました。加えて販売費及び一般管理費の全般的な削減により、営業利益は１億84百万円（前年同期は７億68百万円の営業損失）となりました。

(1) カタログ事業

当第１四半期連結累計期間の売上高は、296億26百万円（前年同期比2.5％増）となりました。

(2) 頒布会事業

当第１四半期連結累計期間の売上高は、19億46百万円（前年同期比9.8％減）となりました。

（ブライダル事業）

ハウスウェディングを中心としたブライダル事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は、挙式組数の減少により19億57百万円（前年同期比0.4％減）となりました。また営業損失は、１億85百万円（前年同期は71百万円の営業損失）となりました。

（法人事業）

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は、８億１百万円（前年同期比3.3％増）となりました。また営業利益は、65百万円（前年同期比47.2％減）となりました。

（その他）

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と店舗でのペット用品の販売を行うペット事業を合わせたその他の事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は、１億40百万円（前年同期比48.7％減）となりました。また営業損失は、24百万円（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

（注）前第３四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については、当該変更を反映した前年同期の数値を用いております。詳細につきましては「３．四半期連結財務諸表（５）セグメント情報等」をご参照ください。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて７億９百万円減少し、921億77百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22億10百万円減少し、440億37百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が８億32百万円、商品及び製品が７億52百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が25億円、未収入金が12億94百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。また、固定資産は、無形固定資産が１億86百万円減少した一方で、有形固定資産が５億95百万円、投資その他の資産が10億92百万円それぞれ増加したことにより前連結会計年度末に比べ15億円増加し、481億39百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ15億１百万円減少し、355億60百万円となりました。これは、販売促進引当金が２億79百万円増加した一方で、短期借入金が８億79百万円、支払手形及び買掛金が８億63百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、108億30百万円となりました。これは、その他が７億89百万円増加した一方で、長期借入金が５億３百万円、社債が３億50百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ８億54百万円増加し、457億86百万円となりました。これは、利益剰余金が２億35百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が７億64百万円、繰延ヘッジ損益が２億59百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。この結果、自己資本比率は49.7％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社の連結業績予想につきましては、平成25年２月７日に発表いたしました当期（平成25年１月１日～平成25年12月31日）の予想数値から現時点で変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,452	4,952
受取手形及び売掛金	6,663	7,496
商品及び製品	16,644	17,397
未収入金	9,951	8,657
その他	5,824	5,813
貸倒引当金	△289	△279
流動資産合計	46,248	44,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,050	14,160
土地	11,908	11,908
その他（純額）	2,215	2,700
有形固定資産合計	28,174	28,769
無形固定資産		
のれん	2,278	2,240
その他	3,995	3,846
無形固定資産合計	6,273	6,087
投資その他の資産		
投資有価証券	5,950	6,972
その他	6,558	6,627
貸倒引当金	△317	△317
投資その他の資産合計	12,190	13,282
固定資産合計	46,639	48,139
資産合計	92,887	92,177

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,073	7,210
短期借入金	3,405	2,526
1年内償還予定の社債	700	700
ファクタリング未払金	13,993	13,812
未払法人税等	207	95
販売促進引当金	307	587
その他	10,373	10,629
流動負債合計	37,062	35,560
固定負債		
社債	1,850	1,500
長期借入金	6,993	6,489
退職給付引当金	34	36
その他	2,015	2,804
固定負債合計	10,892	10,830
負債合計	47,955	46,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,359	20,359
資本剰余金	21,038	21,038
利益剰余金	13,581	13,345
自己株式	△2,775	△2,775
株主資本合計	52,203	51,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△578	185
繰延ヘッジ損益	438	698
土地再評価差額金	△7,041	△7,041
為替換算調整勘定	△89	△24
その他の包括利益累計額合計	△7,271	△6,181
純資産合計	44,932	45,786
負債純資産合計	92,887	92,177

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	34,062	34,471
売上原価	18,137	18,002
売上総利益	15,925	16,468
販売費及び一般管理費	16,666	16,431
営業利益又は営業損失（△）	△741	37
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	1	1
為替差益	318	82
その他	292	183
営業外収益合計	627	282
営業外費用		
支払利息	56	53
その他	45	26
営業外費用合計	101	79
経常利益又は経常損失（△）	△216	240
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	22	49
特別利益合計	23	50
特別損失		
固定資産除売却損	18	29
特別損失合計	18	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△211	260
法人税等	△32	63
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△178	197
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△178	197

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△178	197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	764
繰延ヘッジ損益	859	259
為替換算調整勘定	32	34
持分法適用会社に対する持分相当額	8	30
その他の包括利益合計	1,320	1,089
四半期包括利益	1,142	1,287
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,142	1,287
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,048	1,964	775	33,788	273	34,062	－	34,062
セグメント間の内部売上高又は振替高	133	－	16	150	21	172	(172)	－
計	31,182	1,964	792	33,939	295	34,234	(172)	34,062
セグメント利益又は損失(△)	△768	△71	124	△715	△25	△741	0	△741

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。
２．セグメント利益又は損失の調整額０百万円は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,572	1,957	801	34,330	140	34,471	－	34,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	140	－	8	149	60	209	(209)	－
計	31,713	1,957	809	34,480	200	34,680	(209)	34,471
セグメント利益又は損失(△)	184	△185	65	64	△24	40	△2	37

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。
２．セグメント利益又は損失の調整額△２百万円は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項
前第３四半期連結会計期間より、連結グループ内での事業譲渡に伴い、従来「その他」に区分していた事業の一部について「通信販売事業」へ報告セグメントの変更を行っております。なお、前第１四半期連結累計期間の報告セグメントは、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。